

栃木県地域福祉支援計画（第4期 中間見直し版）評価指標進捗状況

施 策	中項目	No.	項目	単位	基準値 (時点)	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	
【1】 安心して暮らせる地域づくり	(1) 緩やかに見守り、つながる地域づくり	1	とちまる見守りネット協定締結事業者数	者	22  (2020)	目標値	－	23	24	25	26	27	28	
						実績値	－	22	24	26	28			
						達成度	－	C	A	A	A			
			要因分析等		本事業について、リーフレットを配布するなどの周知に努めており、協定締結に至った。今後も引き続き周知に努める必要がある。									
		2	介護予防につながる通いの場への高齢者の参加率	%	6.5  (2019)	目標値	6.6	6.9	7.2	7.5	7.8	8.0	8.0	
						実績値	3.4	3.9	4.2	4.9				
						達成度	C	C	C	C				
			要因分析等		感染症の影響により高齢者が参加を控えるとともに、開催規模や参加人数の縮小等、通いの場の活動が制限されたことや、生活様式の変化等により、高齢者の参加が低迷し、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、通いの場の活動は徐々に再開しているものの、参加者数は戻りきっていない状況にある。									
		3 (見直し前)	認知症サポーター養成数	人	229,319  (2020.12)	目標値	－	229,880	230,440	231,000	(中間見直しにより指標変更)			
						実績値	－	241,691	251,888	265,291				
						達成度	－	A	A	A				
			要因分析等		市町において、積極的に認知症サポーター養成研修が実施されており、順調に推移している。									
		3 (見直し後)	認知症地域支援推進員の配置数	人	139  (2023.4)	目標値	(中間見直しにより新設)					154	169	185
						実績値						145		
						達成度						C		
			要因分析等		認知症地域支援推進員に必要な知識習得のための研修の受講支援を行うなど、認知症地域支援推進員の配置を促進するための取組を行っているものの、目標達成には至らなかった。市町行政に配置されている推進員数が減ってしまったことから、引き続き、市町に対し、推進員配置の必要性に関する理解促進を図る。									
	(2) 災害に備えた取組の促進	4	避難行動要支援者に係る個別計画策定市町数	市町	21  (2020)	目標値	－	23	24	25	計画の内容の充実を図る。(優先度の検討・訓練の実施・計画の見直し等)			
						実績値	－	22	25	25				
						達成度	－	B	A	達成済				
			要因分析等		個別に取組状況の確認及び助言を行ったことで、全市町で個別避難計画の作成に着手することができた。									

※【目標値設定があるもの】 達成度 = (実績値－基準値)／(目標値－基準値) A: 達成度が80%以上 B: 達成度が50%以上80%未満 C: 達成度が50%未満  
※【長期的に上昇若しくは減少を目指すもの】 A: 実績値＞基準値 B: なし C: 実績値≤基準値

栃木県地域福祉支援計画（第4期 中間見直し版）評価指標進捗状況

施 策	中項目	No.	項目	単位	基準値 (時点)	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)			
【1】 安心して暮らせる地域づくり	(3) ひとにやさしいまちづくりの推進	5	おもいやり駐車スペース協力施設数	事業者	817 (2019)	目標値	—	850	880	910	940	970	1,000			
						実績値	—	798	794	807	842					
						達成度	—	C	C	C	C					
			要因分析等		啓発キャンペーンを実施し、リーフレットの配布、ポスターの掲示、広報紙への掲載などの周知に努めているが、協力施設数の増加には至らず、今後も引き続き周知に努める必要がある。											
【2】 地域を担うひとづくり	(1) ひとに寄り添い、支え合う気運の醸成	6	重層的支援体制整備事業等の実施など包括的支援体制の構築に取り組む市町数	市町	8 (2020)	目標値	—	10	13	16	19	22	25			
						実績値	—	10	10	14	19					
						達成度	—	A	C	B	A					
			要因分析等		各種研修等を通じて、理念の浸透、キーとなる人材の育成、市町の後押しを図ることで、市町の取組を支援。R6年度実績値は前年度から5市町増加した19市町（うち重層的支援体制整備事業の本事業に取り組む市町は11市町）となり、順調に推移している。											
		-	認知症地域支援推進員の配置数<再掲>		【1】の（1）のとおり。											
		7	困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）がいない県民の割合	%	10.6 (2020)	目標値	—								減少を目指す	
						実績値	—	13.4	11.6	9.8	11.6					
						達成度	—	C	C	A	C					
			要因分析等		社会福祉法（H30改正）において包括的な支援体制の整備が市町の努力義務とされ、市町の取組（断らない相談支援等）は徐々に進んでいるものの、県民への周知が足りていないところもあり、引き続き、市町の取組の後押しを実施する必要がある。											
	(2) 地域住民等による社会貢献活動の充実	8	高齢者の社会貢献活動参加率	%	52.3 (2020)	目標値	—	基準値を上回る								上昇を目指す
						実績値	—	51.4	54.0	54.9	54.5					
						達成度	—	C	A	A	A					
			要因分析等		高齢者の社会参加活動の参加を促す様々な取組により、依然として高齢者の社会貢献活動への参加意欲は高いと考えられるが、企業の雇用延長等により高齢者の就業が増加しており、社会貢献活動への参加率が減少している要因の一つになっていると考えられる。											

※【目標値設定があるもの】 達成度 = (実績値－基準値)／(目標値－基準値) A:達成度が80%以上 B:達成度が50%以上80%未満 C:達成度が50%未満  
※【長期的に上昇若しくは減少を目指すもの】 A:実績値>基準値 B:なし C:実績値≤基準値

栃木県地域福祉支援計画（第4期 中間見直し版）評価指標進捗状況

施 策	中項目	No.	項目	単位	基準値 (時点)	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
【2】 地域を担うひとづくり	(3) 福祉人材の育成・確保	9 (見直し前)	介護に関する入門的研修実施市町数	市町	5  (2019)	目標値	10	15	20	25	(中間見直しにより指標変更)		
						実績値	5	5	9	9			
						達成度	C	C	C	C			
			要因分析等		研修講師の選定や受講者の確保が困難な状況にあるため、実施に至らない市町が多かったものと考えられる。								
		9 (見直し後)	介護人材の確保に取り組む市町数	市町	13  (2022)	目標値	(中間見直しにより新設)				19	22	25
						実績値					16		
						達成度					B		
			要因分析等		各市町においても人材確保の重要性は認識しているが、様々な要因により実施ができていない市町もあるため、県事業に市町が協働・参画すること等も含め、市町の意見を伺いながら効果的な実施方法を検討していく。								
		10 (見直し前)	とちぎ介護人材育成認証制度の審査・認証法人数	法人	39  (2020)	目標値	55	70	85	100	(中間見直しにより指標変更)		
						実績値	44	69	84	94			
						達成度	C	A	A	A			
			要因分析等		認証制度に係るポスターや動画を作成し周知を図ったこと等により、認知度が向上し、参加法人の増加につながったものと考えられる。								
		10 (見直し後)	とちぎ介護人材育成認証制度の認証法人数	法人	44  (2022)	目標値	(中間見直しにより新設)				54	59	64
						実績値					53		
						達成度					A		
			要因分析等		着実に認証法人数は増加している。目安値には一歩至らなかったが、引き続き認証制度を周知し、目標の達成を目指すしていく。								

※【目標値設定があるもの】 達成度 = (実績値－基準値)／(目標値－基準値) A: 達成度が80%以上 B: 達成度が50%以上80%未満 C: 達成度が50%未満  
 ※【長期的に上昇若しくは減少を目指すもの】 A: 実績値＞基準値 B: なし C: 実績値≤基準値

栃木県地域福祉支援計画（第4期 中間見直し版）評価指標進捗状況

施 策	中項目	No.	項目	単位	基準値 (時点)	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	
【3】 地域福祉の基盤づくり	(1) 包括的な支援体制の構築促進	-	重層的支援体制整備事業等の実施など包括的支援体制の構築に取り組む市町数<再掲>		【2】の(1)のとおり。									
			介護予防につながる通いの場への高齢者の参加率<再掲>		【1】の(1)のとおり。									
		11	基幹相談支援センター設置市町数	市町	14  (2020)	目標値	—	17	21	25			25	
						実績値	—	14	16	18	18			
						達成度	—	C	C	C	C			
			要因分析等		'障害者相談支援協働コーディネーターによる未設置市町への支援や担当者会議における意見交換等は促進されたが、市町内の人材不足等の課題により設置に至らなかったと考えられる。									
		12	子ども家庭総合支援拠点設置市町数	市町	2  (2019)	目標値					25	—		
						実績値	7	15	24	25	25			
						達成度	C	B	B	A	A			
			要因分析等		機会を捉え市町へ設置を促したことなどにより、全市町での設置に至った。 ※法改正により、子ども家庭総合支援拠点は、こども家庭センターに統合（同センターは県内25市町設置済）。									
		13	在県外国人支援に係る人材の登録者数	人	355  (2019)	目標値	400	440	480	520	560	600	—	
						実績値	388	429	464	501	530			
						達成度	C	A	A	A	A			
			要因分析等		研修やセミナー等による積極的なPRにより、概ね順調に推移している。									

※【目標値設定があるもの】 達成度 = (実績値－基準値)／(目標値－基準値) A: 達成度が80%以上 B: 達成度が50%以上80%未満 C: 達成度が50%未満  
※【長期的に上昇若しくは減少を目指すもの】 A: 実績値＞基準値 B: なし C: 実績値≤基準値

栃木県地域福祉支援計画（第4期 中間見直し版）評価指標進捗状況

施 策	中項目	No.	項目	単位	基準値 (時点)	年度	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
【3】 地域福祉の基盤づくり	(1) 包括的な支援体制の構築促進	14	ケアラーという言葉の認知度（聞いたことがあり、内容も知っている）	%	44.9  (2023)	目標値	(中間見直しにより新設)				50	60	70
						実績値					45.3		
						達成度					C		
			要因分析等		令和6（2024）年度のケアラー支援事業において、ポスター、リーフレット、動画などの普及啓発用資材を作成し、認知度向上に取り組んだ。 令和6（2024）年度は施策実施の初年度であり、周知期間が限られていたことなどから、目標値には届かなかったが、引き続き研修会やイベントの機会などを活用し、ケアラー支援に関する積極的な普及啓発を継続することで、認知度の向上を図る。								
		15	ヤングケアラー・コーディネーターの設置市町数	市町	4  (2023)	目標値	(中間見直しにより新設)				6	8	10
						実績値					4		
						達成度					C		
			要因分析等		ヤングケアラーに関する啓発事業や市町・関係機関向け研修等により、県内の取組が徐々に進んでいるところだが、コーディネーター設置市町数の増加には至らなかった。引き続き、市町に向けて好事例を展開するなど情報提供に努める。								
	(3) 成年後見制度の利用など、一人ひとりの権利を守る取組の促進	16	成年後見制度に係る中核機関設置市町数	市町	2  (2020)	目標値	－	6	10	14	25	機能の充実を図る。	
						実績値	－	7	14	19	21		
						達成度	－	A	A	A	A		
			要因分析等		中核機関の設置に向けて、市町や社会福祉協議会職員を対象に研修を実施したほか、弁護士等の専門職をアドバイザーとして派遣し、助言等を行ったことにより、市町の取組につながった。								
	(4) 福祉サービスの質の確保・向上	17	第三者評価受審件数	件	235  (2019)	目標値	－	250	270	290	310	330	350
						実績値	－	259	281	301	324		
						達成度	－	A	A	A	A		
			要因分析等		とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構において、福祉サービス第三者評価推進シンポジウムなどによる普及啓発等を実施し、第三者評価の意義等について理解が図ることができた。								

※【目標値設定があるもの】 達成度 = (実績値－基準値)／(目標値－基準値) A: 達成度が80%以上 B: 達成度が50%以上80%未満 C: 達成度が50%未満  
※【長期的に上昇若しくは減少を目指すもの】 A: 実績値＞基準値 B: なし C: 実績値≤基準値